

地域活性化のために 地域おこし協力隊 今年度3名を採用

企画商工課地域おこし協力隊をご紹介します



しみず ひろむ
清水 大夢さん (10月1日付)

出身：京都府

10月から占冠村にやってきて、1ヶ月程が経ちました。毎日占冠村の自然を感じながらノビノビと生活しています！若さを生かしてどんどん動き回りたいと思います。

まだまだ占冠村にきて日が浅いですが、1日でも早く村に馴染めるように頑張ります。皆さん、どうぞよろしくお願ひいたします！

ましも あきら
真下 陽さん (6月1日付)

出身：札幌市

占冠村に来て約半年が経ちましたが、皆様に温かく迎えていただいたこともあり、身構えることなく自然に暮らせる場所だと感じております。

あまり大きなことはできませんが、地道にコツコツ働こうと思っております。よろしくお願ひします。

はらの ちゆき
原野 知有紀さん (11月1日付) 出身：和歌山県

10月までは、こことは全く環境が違う東京で働いていましたが、以前、農作業ヘルパーとして富良野に住んだことがあり、ずっと北海道に戻りたいと思っていました。

今回、占冠村の地域おこし協力隊として、また北海道で暮らせることをとてもうれしく思っています。

住民の皆さまの想いに添った地域おこしの活動ができればと思っています。これから、どうぞよろしくお願ひいたします！

協力隊とは？

地域おこし協力隊は、人口減少や高齢化等の進行が著しい地方において、域外の人材を積極的に誘致し、その定住・定着を図ることによって、都市住民のニーズに応えながら、地域力の維持・強化をめざす総務省の制度です。

村ではこの制度を活用し、集落対策を推進するため、平成25～26年度は2名の協力隊に活動していただきました。今年度は3名の新隊員が着任しましたので、集落支援をはじめとする各種活動を行っていきます。

【活動地域】

村内でも特に高齢化率の高くなっている双珠別地区と占冠地区、トマム地区を中心に活動します（他の地区においても行事・イベントのお手伝い等を行うことがあります）。

【活動内容】

- 集落支援活動（高齢世帯の生活支援や地域行事の実施支援など）
- 集落対策やコミュニティの活性化に資する各種団体等の活動支援
- 地域おこし活動（イベントの開催、移住政策など）

※活動の様子は、「協力隊新聞」で随時お知らせします。

トマム地域の活性化へ

地域カフェ「ミナ・トマム」 リニューアルオープン！



トマム町内会で、昨年10月に地域カフェ事業を立ち上げ、今年6月から旧平岡商店での運営が始まった「ミナ・トマム」は、トイレ改修や薪ストーブが設置され、リニューアルオープンしました。

11月8日に、リニューアルオープンイベントとして、新しい看板お披露目の除幕式を行い、薪ストーブを囲みながら、昼食やダッチオープン料理、スイーツなどを楽しみ、地域の皆さんで盛大にお祝いしました。

カフェには、野菜やお菓子などが陳列され、内装もきれいに整備されました。

ミナ・トマムに 「薪ストーブ」を設置

森林資源活用の一環として、地域カフェ「ミナ・トマム」に薪ストーブが設置されました。

ミナ・トマムでは陶芸などのサークルが活動しており、冬場は地域の管理のもと、暖かい薪の暖房の中でサークル活動が行われます。



薪ストーブで焼いたスイーツをほおぼる子どもたち

占冠・双珠別地域の活性化へ

ちょこっとバス遠足を 企画しました



地域の人との交流のほか占冠地区と双珠別地区との交流も深めてもらおうと、10月24日、占冠地区・双珠別地区合同のバス遠足が行われました。

遠足は、トマムリゾート見学やパーキングエリアでの買い物をした後、占冠地域交流館で昼食をとりながら交流しました。

「トマム（リゾート）ホテルにはもう何十年も来てない」と見学できてよかったという感想がありました。

また、バスに乗ると、各自用意した飴やお菓子が配られ、昼食には漬物を持ち寄る姿も見られ、地域の皆さんのやさしさにふれた遠足となりました。